



2022年2月10日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア ク シ ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 小 倉 博 文
(コード番号：4012 東証マザーズ)
問 合 せ 先 経 営 企 画 室 長 石 川 浩 一
(TEL. 03-6205-8540)

新規事業（デジタルコンサルティング事業）の開始に関するお知らせ

当社は、中期経営計画にてお伝えしておりました通り、顧客のデジタル経営を支えるために、新規事業としてデジタルコンサルティングに関する事業を開始することを2022年2月10日開催の取締役会にて決定いたしましたので、下記の通り、お知らせいたします。なお、本開示は任意開示であり、開示事項の一部を省略しております。

記

1. 新規事業開始の目的

当社は、長年、主に金融業界に向けてソフト、ハード両面における要件定義から設計・開発・テスト、運用・保守に至るまで、金融各業態の顧客ニーズに合わせて様々なサービスをトータルに提供・サポートしてまいりました。近年は、基幹系・市場系システムのクラウド化、キャッシュレス決済プラットフォーム構築など、金融のテクノロジー(FinTech)利用を促進すると共に、これまで取り組んできた一般企業向けのシステム開発に関しては、Salesforceなどのプラットフォームの活用、プログラムレスでのシステム構築など新しい技術を使ったシステム提供にシフトしてまいりました。

一方、一般企業における課題として、データの活用が進まないことにより、市場の変化に対応してビジネスモデルを柔軟・迅速に変更することができないなど、DXへの取組が進んでいない現状が挙げられます。

このような課題に対して、これまで培ってきた課題抽出力・要件定義力、DXで必要な各種サービスの活用実績などを活かし、デジタルコンサルティングを行う事業を開始することといたしました。

2. 事業の概要

新たな顧客体験やサービスを創出することを目的に、その支えとなる業務システムや業務プロセスの課題を明確にし、新しいテクノロジーを活用して解決に導くコンサルティング及びそれを補完するサービスを提供いたします。提供するサービスは、デジタル化支援に留まらず、デジタル人材の育成、情報システム部門をサポートするテクノロジーサポート、デジタルビジネス創出など幅広いサービスを提供いたします。

また、コンサルティングにより必要となった業務システムの構築などシステムインテグレーションに関連する受注が増えることも見込んでおります。

3. 開始時期

2022年3月

4. 今後の見通し

当該事業による当社業績への影響は軽微と見込んでおりますが、中長期的に当社業績の向上に資するものと考えております。開示すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

以上